6長打含む13安打で11点

さいたま報知

大東スポーツクラブ 三塁点

自慢の強力打線が爆発

2022年（令和4年）
7月号
7月24日発行
報知新聞
埼玉県版
第213号
東京本社 03-6831-3333
〒130-8633 墨田区横網1-11-1

読売旗争奪県西部地区少年野球夏季大会

報知新聞社後援

読売旗争奪第48回埼玉県西部地区少年野球夏季大会（後援・読売新聞東京本社、埼玉県西部読売会、報知新聞社ほか）が5月29日～7月9日、坂戸市民総合運動公園などで行われた。本大会の部決勝は大東スポーツクラブ（川越市）が11―3で勝瀬キッズ（富士見市）を下し、4年ぶり3度目の優勝を飾った。6長打を含む13安打と打線が爆発し、昨年のジュニアの部（5年生以下）に続く〝連覇〟を達成した。

【本大会の部】

▽決勝

大東スポーツクラブ	2	0	0	1	2	6		11
勝瀬キッズ	1	0	0	0	0	2		3

二塁打＝山田2、林（大）山田、朝倉2（大）、尾﨑、佐藤（勝）

昨年に続く連覇

大東スポーツクラブ自慢の強力打線が、初回から火を噴いた。中前打の1番亀川和（やまと、6年）が三塁に進み2死後、4番山田玲羽（れう、6年）が中越え三塁打、5番朝倉大晴（たいせい、6年）が右前打で2点を先制した。本領発揮は中盤から。4回表1死二、三塁から9番興梠斗環（とわ、6年）の右前打で1点を追加すると、5回には山田、朝倉の連続二塁打と犠飛で2点。6回表は4長短打と敵失などで一挙6点を奪って試合を決めた。吉村憲監督（56）は「2、3回と大振りで飛球が多くなったので、コンパクトなスイングを徹底させた」と、見事に修正したナインを頼もしそうに見つめた。

昨年のジュニアの部では6試合で88得点を叩き出して優勝。その後、主軸選手の離脱などがありながらも、着実に成長して今大会に備えた。この日、2三塁打と1二塁打の山田は「素振りは平均で500本。腹筋や腕立て伏せもやった」。昨年は控えだった興梠は「去年、活躍できなくて悔しかった。素振りを毎日やった」とスタメンの座を奪取。「今度は控えの選手の気持ちも背負って」と、2安打1打点の結果を残した。

例え不調でも試合中に修正できる能力身につける

6試合で77得点

昨年の甲子園大会では、OBでこの大会でも活躍した渡辺創治郎（現東海大1年）が松商学園（長野）の背番号1として出場。「僕たちもやればできる」（伊藤颯介主将、6年）と、刺激を受け努力を怠らなかった。誰かが抜けてもすぐにその穴を埋め、常にレギュラーの入れ替えもある。例え不調でも試合中に修正できる能力を身につけ、今年も6試合で77得点とすべて2ケタ得点で頂点に立った。「今までもそうだったけど、みんなこれからも油断せず次の優勝を目指す」と山田。個々の努力をチームのつながりに結びつけ、将来にも道筋をつける。これが大東スポーツクラブの伝統だ。

先発して4回を2安打1失点と好投した大東スポーツクラブ・林

▲大東スポーツクラブは4回裏1死二、三塁で9番興梠が右前打を放ち3点目

4年ぶり3度目の優勝を飾った大東スポーツクラブ

【大東スポーツクラブ】	打	安	点
（中）亀川	6	1	0
（左）津久井	6	1	0
（遊投）佐藤秀	6	4	4
（捕）山田	5	3	2
（一）朝倉	6	4	3
（投三）林	6	3	2
（右）吉田	6	3	1
（三遊）伊藤	6	2	1
（二）興梠	6	4	2
振四犠盗失	30	13	7
7 5 1 2 2			

【勝瀬キッズ】	打	安	点
（投遊）林	6	0	1
（三）尾﨑	6	2	0
（遊投）柳	6	3	0
（二）佐野	6	2	0
（一）佐藤	6	2	0
（右）石畑花	6	2	1
（左）安本	6	3	0
（中）村山	6	2	0
（捕）桐谷	6	1	0
振四犠盗失	22	4	2
3 3 0 2 3			

回	安	三	四	責
林 4	2	2	3	0	1	1
佐藤秀 2	2	2	3	0	0	0
林 5	1	3	7	0	4	1	8	0
柳 3	3	0	0	1	0	0	白	ヌキ

【注】学年の数字は左打者

川越ダービー制す

川越ワールド・ジュニアーズ

川越ダービーとなった初雁フェローズとのジュニアの部決勝を、12―3の4回コールド勝ち。3年ぶり2度目の優勝を飾り、高橋広樹主将（5年）は「練習の成果を出せてとてもうれしい」とニッコリ。1カ月前に右手指をケガした影響で4番から7番に下がっていた田中佑樹（5年）は左越え2点本塁打、右翼線への適時三塁打と大暴れ。「来年は4番に戻って本大会の部で優勝する」と誓った。

▽決勝

初雁フェローズ	0	0	3	0					3
川越ワールドジュニアーズ（4回コールド）	5	7	0	X					12

【ジュニアの部】

ジュニアの部を制した川越ワールド・ジュニアーズ

佐野選手が獲得

◆17打数10安打で本大会の部・最優秀打撃賞を獲得した勝瀬キッズ・佐野凜香二塁手（6年）「準決勝までは4番としての働きができたが、決勝は無安打で負けたのが悔しい。次は私が打って勝つ」

名古屋メシの代名詞・本場大人気店 矢場とん

内容量 ●豚ロース100g×2 ●豚ひれ30g×4 ●みそだれ50g×4

本格・揚げたての味をご自宅で

通常3,980円（送料込み）

特別価格 1セット（4食分） 2,980円（税込） 送料無料

さらに、2セット購入で代引き手数料無料（440円相当）（1食あたり約750円）

昭和22年総業・名古屋名物みそかつの老舗「矢場とん」より、レンジで簡単・お店の味が再現された、【本場 みそかつセット】のご紹介。

目利きによる厳選された南九州産の良質な豚肉・老舗の門外不出の秘伝のみそだれ・生と乾燥のブレンドで生まれたパン粉だから実現するサクサク感。

それに熟練シェフが愛情込めて作った絶妙な味わいは、一度食べたらやみつきになります。こだわり抜いた逸品を是非ご自宅でご賞味ください。

ご注文は今すぐ! ☎050-1865-7897 （10時～17時、土日祝も受付）

●お届け/注文受付後クール便にて5日前後で到着。●お支払い/代引き（手数料440円/税込）●送料/無料※北海道・沖縄は500円/税込。●返品/商品の性質上お断り。万が一不具合がある場合は1週間以内にご連絡ください。※お預かりした個人情報は、商品・DMの発送以外の目的では使用致しません。

いつも行列が出来る、矢場とん本店

株式会社矢場とん
〒454-0027
愛知県名古屋市中川区広川町3-1-78

次号は8月21日（日）発行